



勤労の獅子

いつでもそばで、ささえる！ つなぐ！ はたらく！

プロジェクト管理 プロジェクト基本設定 操作マニュアル

エス・エー・エス 株式会社

software agency system co., ltd.



マニュアルの見方

●表記のルールについて

マニュアルの表記では、次のようなルールを使用しております。

表記ルール	意 味
→P.xxx	このマニュアル中で関連する情報が説明されているページを示しています。
{ }	{ } で囲んでいる文字は、画面名やウィンドウ名を示しています。 例 会社情報登録画面：{会社情報登録}
[]	[] で囲んでいる文字は、項目名やタブの名前を示しています。 例 社員コード：[社員コード]
< >	< > で囲んでいる文字は、ボタン名やリンク名を示しています。 例 登録ボタン：<登録>
[]	[] で囲んでいる文字は、項目の入力規則を示しています。※ 例 半角数字10桁：[半角数字10桁]
()	() で囲んでいる内容は補足を示しています。

※入力規則の記載にかかわらず、全項目において以下の記号は入力することができません。

[!¥"#\$%&¥'()*+,-/;:=?@^_{|}~]



目 次

1. プロジェクト登録

1-1 プロジェクト基本設定の概要 → 5 P

1-2 設定内容について → 6 P



1. プロジェクト基本設定

プロジェクト管理機能のベースとなる各種設定を行うことができます。

- 1—1 プロジェクト基本設定の概要 → 5 P
- 1—2 設定内容について → 6 P



1 - 1 プロジェクト基本設定の概要

《プロジェクト基本設定について》

〔プロジェクト基本設定〕では、プロジェクト管理機能を利用するにあたって、各画面の表示方法や、プロジェクト工数時間の元となる勤怠実績の取得方法など、非常に重要な設定を行います。

プロジェクト管理機能の利用中に設定を変更すると、各画面において**稼働表データが正しく表示されなくなる可能性があります**。また、不正な設定を行うと、**稼働表申請が行えなくなってしまう場合もあります**。設定変更を行う際には充分にご注意ください。



1 - 2 設定内容について

勤労の獅子
いつでも、どこでも、つながる。ほたらく。

設定 / システムマスタ / プロジェクト基本設定

① ▶ プロジェクトコード分割 :

【大区分】	【中区分】	【小区分】
1 ~ 3 ▼ 桁目	4 ~ 6 ▼ 桁目	7 ~ 10 桁目

② ▶ 稼働時間判定項目 :

【勤怠日次項目】 標(時)実働 ▼

【表示名称】 稼働時間 必須

③ ▶ 稼働時間入力 :

15分単位 ▼ ☒ 切捨て ☐ 切上げ

④ ▶ 勤怠データとの比較チェック :

☐ しない ☒ する

⑤ ▶ 稼働時間チェック :

勤怠データとの差分 00:30 まで

⑥ ▶ 申請画面表示項目 1 :

【勤怠日次項目】 標(時)所定 ▼

【表示名称】 所定時間 必須

⑦ ▶ 申請画面表示項目 2 :

【勤怠日次項目】 標(時)平普残 ▼

【表示名称】 残業時間 必須

⑧ ▶ 事由 B、C の表示範囲 :

☒ 全て表示 ☐ 事由B,Cを非表示 ☐ 事由Cを非表示

※事由Aは必ず表示されます。

⑨ ▶ 個人照会・承認画面 週始め曜日表示方法 :

☐ 日曜から表示 ☒ 月曜から表示

<更新> を押すと、
 入力内容を基に各設定が
 更新されます。

更新

図 1. プロジェクト基本設定画面

《主なボタン説明》

<更新> : 入力した内容でプロジェクト基本設定を更新します。

《主な項目の説明》

①「プロジェクトコード分割」:

10桁のプロジェクトコードを、大区分・中区分・小区分に分割するための各桁数を設定します。

②「稼働時間判定項目」:

プロジェクトの工数を振り分ける際、元となる実績時間として利用する、勤怠項目を設定します。また、各画面で表示する際の名称を設定します。 ***1**

③「稼働時間入力」:

〔稼働表申請〕や〔稼働表修正〕にてプロジェクト工数時間を入力する際の、入力単位および端数処理方法を設定します。

入力単位は「丸めなし」「5分単位」「10分単位」「15分単位」「30分単位」「60分単位」から選択します。 ***2**

端数処理方法は「切捨て」「切上げ」から選択します。

④「勤怠データとの比較チェック」:

申請時に、「稼働時間判定項目」で指定した項目による勤怠の実績時間と、プロジェクト工数時間を比較チェックするか否かを設定します。

比較チェックを行う場合、勤怠実績時間とプロジェクト工数時間（日次合計）の差分が「稼働時間チェック」の設定値を超えた場合に、申請ができなくなります。

⑤「稼働時間チェック」:

申請時に、勤怠実績時間とプロジェクト工数時間の差分を許可する時間数を設定します。

***3**

⑥「申請画面表示項目1」、⑦「申請画面表示項目2」:

稼働表データを表示する各画面において、勤怠実績の参考値として

表示する勤怠項目を設定します。また、各画面で表示する際の名称を設定します。 ***1**

⑧「事由B、Cの表示範囲」:

稼働表データを表示する各画面において、勤怠実績の参考値として表示する事由A、B、Cの表示範囲を設定します。

⑨「個人照会・承認画面 週初め曜日表示方法」:

稼働表を1週間単位で表示する画面において、週初めの曜日を設定します。

***1**・・・日次で計算される勤怠項目のみ選択可能です。

***2**・・・「稼働時間判定項目」が10進表記の場合、入力単位は「丸めなし」「15分単位」「30分単位」「60分単位」のみ選択可能です。

***3**・・・「勤怠データとの比較チェック」に「する」が設定された場合のみ入力可能です。